

【2月1日】

～ 命を守る学習（起震車体験） ～

1月1日に起こった能登半島地震。復興に向け、多くの人々が努力をしていますが、いまだに不自由な生活に苦しんでいる人が大勢います。突然襲ってくる自然の脅威にどう対応するのか。慌てず落ち着いて行動するには、経験と準備が大切です。そこで、春から起震車体験の申し込みをし、ついにその日がやってきました。

事前指導の際には、子どもたちから石川県の能登半島地震の話がたくさん出てきたそうです。低学年は震度4を、中学年は震度5を、そして高学年は震度6を体験しました。地震の揺れを実際に体験したことで、いざという時に慌てずに行動できると思います。様々な体験をし、いろいろなことを感じ考え想像することで自分の世界を広げていきたいです。

ご協力いただいた南消防署の皆様、ありがとうございました！



テーブルが固定されているから、何とか耐えました。



先生たちが体を張って震度7を体験しました。私も体験しましたが、揺れが激しすぎて、まったく動けませんでした。断続的に何度もこの揺れに襲われたら、恐ろしいことになるなと思いました。家具を固定しておくことの大切さを実感しました。